



2024年6月3日

各 位

本社所在地 東京都渋谷区代々木3-25-3
会社名 **レカム株式会社**
代表者名 代表取締役社長 伊藤 秀博
(コード番号: 3323 東証スタンダード市場)
問合せ先 社長室 室長 橋本 和彦
(TEL: 03-4405-4566)
(URL: <https://www.recomm.co.jp>)

「世界初」生成AIの活用による業務自動化シナリオ作成を可能とした RPAバージョンアップモデル販売開始のお知らせ

当社の子会社であるレカム DX ソリューションズ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表 櫻井 順哉、以下「RDX」といいます）は、本日より生成AIの活用による業務自動化シナリオ作成を世界で初めて可能としたRPA(※)バージョンアップモデル「Robo Worker® AI-Agent」の販売を開始いたしますので、下記の通りお知らせいたします。

※ Robotic Process Automation の略称で、ソフトウェアロボットを利用した業務プロセス自動化 技術の一種。

記

1. RDXについて

RDXはAI-RPAを活用して企業における人手不足の解消や業務効率化の支援を行なうために、2023年4月に設立された会社です。従来のシナリオ作成に専門知識が必要なRPAと異なり、誰でも直感的に操作が可能な特徴を持つ進化型AI-RPA「Robo Worker®」を販売しております。

2. 生成AIの活用による業務自動化シナリオ作成を可能としたRobo Worker® AI-Agent 概要

此度のRobo Worker® AI-Agentは従来の進化型AI-RPAツール「Robo Worker®」のバージョンアップモデルとなり、業務内容を自然言語で入力することでRPAシナリオの自動生成を可能とします。

競合他社との 生成AIでRPAシナリオを自動作成出来る優位性

	Robo Worker® AI-Agent	従来の他社RPAツール
入力データの形式と処理能力	● 生成AIを使うことで、テキストを処理する機能を持ち、 <u>非構造化または半構造化されたデータを扱える。</u>	● 主に構造化されたデータに対して最適化されており、特定のフォーマットやルールに従ったデータを処理。

ユーザーインターフェース	<ul style="list-style-type: none"> ● ユーザーからの業務内容入力を理解し、対話形式で応答することが可能。 ● 「AI エージェント」として、<u>より対話的なユーザーインターフェースを実装。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● RPA の裏側で実行される処理やデータの管理に注力しており、ユーザーとの対話は限定的。 ● 主にプログラム化されたスクリプトやルールに基づいて自動処理。
適用範囲と柔軟性	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>より広範な業務プロセスに適用可能で、煩雑なタスクに対応する柔軟性を持つ。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 比較的単純かつ反復的なタスクに最適化されており、その適用範囲は明確に定義された業務プロセスに限定。

これにより、プログラミングスキルがないユーザーでも、簡単に業務を自動化することができます。

RPA シナリオ作成が簡単:業務内容をダイアログボックスに入力することで作成可能

入力内容:

メールボックスへログイン、ID及びPW123456を入力、最新の未読メールを開く

① ダイアログボックスに入力

② 指示を出す

③ 7ステップ分解

④ スタート

1. メールボックス自動起動
2. IDを自動入力
3. PWを自動入力
4. ログインを自動クリック
5. 受信トレイを自動クリック
6. 未読メールを自動探し
7. 最新の未読メールを開く

⑤ 実行と修正

⑥ 指示追加可能

3. RPA バージョンアップモデルの販売展開について

当社グループではRPA バージョンアップモデル「Robo Worker® AI-Agent」の日本語版を販売開始し、更に英語版をリリースする予定です。英語版がリリースされ次第、現在開設準備中であるマレーシア合弁会社における同国内での独占販売を計画しております。マレーシアでの販売を皮切りにASEAN 各国でも同様のビジネスモデルによる共同事業を検討する予定です。

当社は、上記の海外展開を実現することにより、Robo Worker® AI-Agent を2020年より販売開始したウイルス除菌装置「ReSPR」に続く、第二のグローバル戦略商品として成長させてまいります。

4. グローバル専門商社構想について

当社グループは、成長戦略としてグローバル専門商社構想を掲げております。ターゲット企業や取り扱い商材を拡げ、巨大なグローバルマーケットを対象に販売していくことで、当社グループの海外事業の成長を加速させていく構想です。今回のRPAバージョンアップモデルの販売は、日系企業のみならずローカル企業も対象とし、中期的には進出各国へと販売網を拡大することにより、海外事業の成長を加速化させてまいります。

5. 業績等に与える影響について

2024年9月期連結業績に与える影響は現時点では軽微と見込んでおりますが、開示すべき事項が生じましたら速やかに開示いたします。

以上